

空は紺青だが、嵐を孕んで、
落ちたら最後助からぬ強風に高鳴る海原の様だ。
全管弦楽が鳴るかと思えば、突然、休止符が来て、
鳥の群れが音もなく舞っており、旧約聖書の登場人物めいた影が、
今、麦の穂の向うに消えた——
「ゴッホの手紙」より

朝が来る毎に長安街は新しく生れた。
或る日すばらしい曙が来て、
秋空は画面の程までも下りて来た。

「梅原龍三郎」より

生誕百年記念展

小林秀雄

Kobayashi Hideo —
The Heart in Search of Beauty

美を求めめる心

2003年6月7日(土) — 7月13日(日)

尾道市立美術館

〒722-0092
尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内
TEL 0848-2312281 FAX 0848-201682

開館時間 午前9時—午後5時(入館は、午後4時30分まで) 休館日 月曜日

観覧料 一般 800円 / 大・高生 500円 / 中・小学生 300円

「前売は、各200円引/団体(20名以上)は、各1000円引」 「前売券販売所」 尾道市立美術館(6月1日まで)

主催 尾道市立美術館、日本経済新聞社

後援 文化庁、広島県教育委員会、協賛 鹿島建設株式会社

特別協力 株式会社、新潮社、協力 東レ株式会社、企画協力 株式会社ジバンゲ

《古信楽埴垣文大壺》室町時代



「信楽大壺」より

「壺中天」という言葉がある。
焼き物にかけては世界一の支那人は、
壺の中には壺公という仙人が棲んでいると信じていた。
焼き物好きには、まことに真実な伝説だ。
私の部屋にある古信楽の大壺に、
私は何も貴重なものを貯えているわけではないが、
私が、美しいと思つて眺めている時には、
私の心は壺中にあるようである。

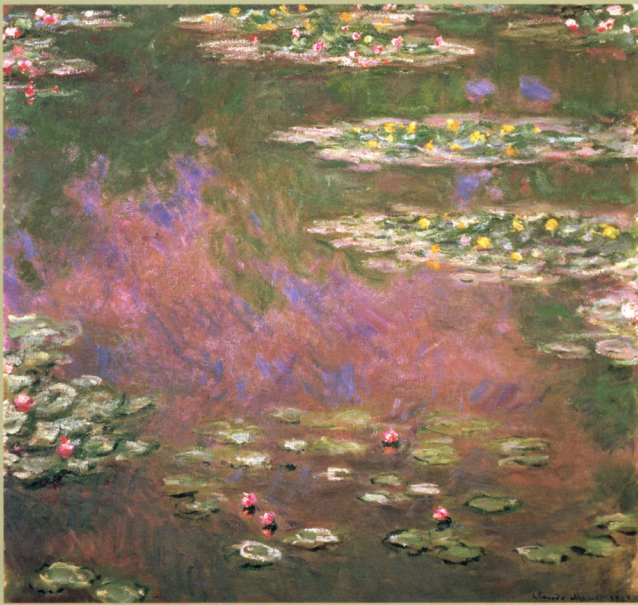
ゴッホ「鳥のいる麦畑」のレプリカの前にて
昭和23年暮 撮影＝林忠彦



「鐺」より

そのうちに、白鷺だか五位鷺だか知らないが、
一羽が、かなり低く下りて来て、頭上を舞った。
両翼は強く張られて、風を捕え、黒い二本の脚は、
身体に吸われたように、整然と折れている。
嘴は延びて、硬い空気の層を割る。

《舞鶴透鐺》林又七作 江戸初期



モネ《睡蓮》1907年

小林秀雄 美を求めめる心

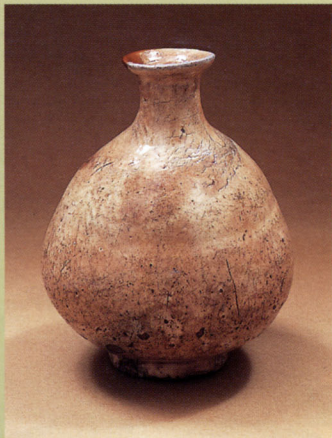
生誕百年記念展

昨年、生誕百年を迎え、本年は没後二十年となる小林秀雄は、「様々な意匠」で文壇にデビューして以来、近代批評の可能性を文学や歴史から美術、哲学、科学へと広げ、日本で初めての批評を芸術として確立した評論家です。本展は、その評論の対象となった絵画や骨董を通して、「小林秀雄の目」が探究した「美」そのものに焦点を合わせようというものです。著書「美を求めめる心」を道しるべに、ゴッホやセザンヌ、ルノワールやドガ、ピカソやルオー、梅原龍三郎や富岡鉄斎、李朝の白磁や縄文土器、刀のつばや勾玉といった、総計一〇〇点をこえる様々な分野の作品が一堂に会し、小林秀雄自身の言葉による道案内で「美を求めめる心」の軌跡をたどる、ユニークな試みとなっています。小林秀雄が感動し、追究した「美」をともに愛で、身近に追体験することで、日々の生活の中で、本物の豊かな芸術を楽しみながら、愛し、美を求めめる心を育てていただければ幸いです。

Kobayashi Hideo — The Heart in Search of Beauty

美しいものは、諸君を黙らせます。美には、人を沈黙させる力があるのです。これが美の持つ根本の力であり、根本の性質です。絵や音楽が本当に解るといふ事、こういう沈黙の力に堪える経験をよく味わう事に他なりません。

「美を求めめる心」より



《粉引徳利『酔胡』》李朝初期



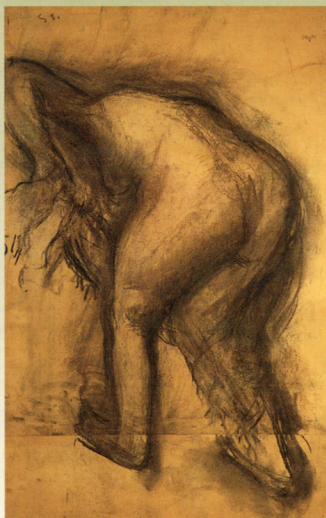
セザンヌ《森》1875—76年



富岡鉄斎《蓬莱仙境図》1924年



《魚形勾玉》



ドガ《浴槽の裸婦》1885年頃



ゴッホ《農婦—窓辺のプロフィール》1885年

まず、何を措いても、見ることです。見るとか聴くとかいう事を、簡単に考えてはいけません。見ることも聴くことも、考えることと同じように、難かしい、努力を要する仕事なのです。

「美を求めめる心」より

ご利用案内

- JR西日本・山陽本線「尾道駅」から東行きバスで「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ
- 自家用車の場合、「千光寺ドライブウェイ」経由で「かおり橋駐車場」へ（駐車券をご提示いただけましたら、当日券をお求めのかた1名様にかぎり、200円割引いたします）。
- 「尾道駅」および「新尾道駅」からタクシーで1,200円程度です。



尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682



次回展覧会予告

第47回 尾道市美術展

2003年7月23日(水)—7月27日(日)

彫刻・書・写真 部門

2003年7月30日(水)—8月3日(日)

日本画・洋画・工芸・デザイン 部門